

事業所職員向

放課後等デイサービス自己評価表

職員8名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			療育室内が十分な広さを確保できている。	療育室が以前より広くなった為、充実した活用方法を検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	8				配置は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4			完全なバリアフリー化はされていない為、必要に応じ、手すり等の設備を設けていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			日々の支援経過記録で目標を把握して、記録もできている。	継続して、月に1回以上のミーティングを行い、児童や日課活動について改善に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8				毎年、継続して実施し、改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8				ホームページにて日課活動と自己評価を公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8			保護者アンケートをもとに、スタッフで話し合い改善に向けて取り組みができている。	法人内で委員会やエアマネージャーを設置している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		虐待の外部研修などを行う事ができている。	内部研修を行っている。2023年は、外部講師を招いての研修も行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				定期的にあセスメントの更新を行い、個別支援計画書へ反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1			法人内で共有しているアセスメントシートを使用している事を再度、スタッフへ周知していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			担当制で作成し、スタッフミーティングで活動内容を話し合い決める事ができている。	月のミーティングにて日課の内容について話し合いを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			年間計画で一覧化し、固定化しないよう様々な活動を考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		休日の日課内容が間延びする事があるため、遊びや活動を提案していきたい。	休日や長期休暇に応じた、日課内容を再度検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				アセスメントやモニタリング等を通じて目標を設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			リーダー・日誌ログなどの役割が決められている。今後、具体的な支援内容に応じた役割分担も行っていきたい。	昼礼や終礼にて日課内容の確認や1日の申し送り事項を共有している。また、チャットワークを使用して情報共有も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			終礼時に口頭での申し送りとチャットワークにて情報共有を行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			利用時には、支援経過記録をとっている。	支援経過記録の記入内容についてもスタッフと共有している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				定期的なモニタリングを保護者と綿密に行い個別支援計画書の見直しを行います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8				ガイドラインに沿った活動が行えるようにスタッフ間で共有している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				今後は、児発管以外のOJT期間のスタッフも会議に同席できる環境を作っていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		特別支援学校の先生との申し送りは十分にできているが、その他の学校の先生との申し送りができない事がある。	保護者との連絡を適切に行い、学校とも連携しながら行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5		協力医療機関はあるが、医療的ケアが必要な児童が在籍していない為、わからない。	現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していない。今後、必要に応じて連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			利用が開始する前に情報共有している。	相談員を介して会議を開いてもらい、利用前に情報共有する事ができている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			モニタリング等で共有できている。	卒業する児童が障害福祉サービスを利用する為、情報共有を行っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3			今後、連携を密にしていき研修等の機会を増やしていきたい。スタッフもセンター等に行く機会をふやしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8			図書館や児童館へ定期的に行っている。	定期的に児童館等の利用もしている。今後はコロナも落ち着いてきている為、児童館等の利用を今より増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	2		管理者や児発管が参加している。	参加の頻度を現状より増やしていきたい。管理者だけではなくスタッフも参加できるようにしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時やまはろノートなどで報告を行っている。	継続して保護者との情報共有を行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5		不十分な部分もあるが、保護者からの質問に対しては、しっかりと返答を行っている。	ペアレントトレーニングの研修を行い、保護者に対しての助言も向上できるようにしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約の際に実施している。変更や質問があればその都度対応している。	契約時に行っている。今後も丁寧な説明を心がけていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		不十分な部分もあるが、保護者からの質問に対しては、しっかりと返答を行っている。	送迎児等に相談に応じ、スタッフ間で情報も共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2		合同レクなどで参加の呼びかけをしている。今後は、保護者会を主とした交流会もできたらよい。	今年度は、法人内で合同の保護者参加の活動を行った。継続して取り組めるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			対応できている。	マニュアルを再度、スタッフ間で共有するとともに見直しも行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			ブログやインスタグラムも更新しているの で周知していきたい。専門職よりも発信 している。	継続して、ブログにて日課活動を公開す るとともにインスタグラム等でも公開して いく。
	35	個人情報に十分注意しているか	8				書類に関しては、鍵付きの書庫を使用し ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	8			わかりやすく専門用語を使わず、本人や 保護者に配慮した言い方を意識してい る。	児童に対しては、視覚教材など特性に配 慮した意思伝達方法を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	1	招待が難しいと思う。	事業所に招待する事はできていないが、 合同の展示会を開催している。今後、地 域を招くことができる行事を検討していく。
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知しているか	8			作成している為、保護者への周知が足り ないと思う。	マニュアルの見直しとBCPを策定したた め、スタッフへ再度周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	8			定期的に避難訓練を日課にて実施してい る。	定期的な避難訓練を実施している。その 中でスタッフの動きも確認している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	8			外部講師をお迎えしての研修会が実施さ れた。	外部講師を招いた研修会を実施でき ている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いるか	8				個別支援計画書に記載し、保護者へ同意 を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされているか	8			スタッフ間で共有し、おやつや弁当なども 気をつけている。	スタッフと共有できている。すぐに確認で きるような取り組みも行っていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	8			スタッフミーティングでの確認とホワイト ボードへ貼り出し共有している。	事故等があった場合は、すぐに作成して もらい情報を共有している。